

# 第1 はじめに

わたしたちの国は、地震災害をはじめとする自然災害が多い地域に位置しており、これまで、阪神・淡路大震災(1995年1月)や東日本大震災(2011年3月)、新潟県中越地震(2004年10月)熊本地震(2016年4月)など、数多くの大規模地震を経験してきました。本市においても、2018年6月に、震度5強を観測した大阪府北部を震源とする地震が発生し、多数の市民が負傷し、多くの建物が損壊しました。

ひとたび、このような大規模地震が発生すれば、火災や建物倒壊による救助など、応急対策の需要が増大し、消防署や防災機関などの公的機関だけでは、すべての災害への対応に手が回らない状況になります。こうした時、地域に住まうみなさんや、地域を支える事業所のみなさん自らが、災害発生直後の応急活動を実施することが、被害の軽減につながります。

このハンドブックでは、応急活動のうち代表的な①初期消火、②救助救出、③搬送法・ファーストエイドを取り上げ、みなさんの身近にある資機材を用いた応急活動の実施方法を具体的に解説していきます。みなさんが、この冊子を活用して地域や事業所において防災訓練を行っていただくことにより、安全に、また的確に災害時の応急活動を行うことができ、みなさんの大切な家族や従業員、ご近所の方々を守る一助となれば幸いです。

## ハンドブックの使い方

### ● QRコードで動作が確認できる

応急活動のそれぞれの動作には、解説とともにQRコードを付し、読み込むと各動作を動画で視聴できます。訓練前の確認や、訓練後の教養等にご活用ください。

### ● 資機材の取扱説明書と合わせて使用しましょう

応急活動には、資機材を用いて行うものがあります。ハンドブックには、基本的な取扱い方法や注意事項を掲載していますが、合わせて取扱い説明書を熟読し、資機材の性能を十分に把握してから訓練を行うようにしてください。

### ● 訓練の必要人数を表示

各応急活動には、訓練に必要な人数の目安を記載しています。訓練企画の際の、参考としてください。

### ● 訓練のご相談は消防署まで

消防署員の指導のもと、訓練を実施することを希望される方は、背表紙「訓練のご案内」を参照のうえ、消防署にご相談ください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。